

# ニューズレター雪氷北信越

No. 21 平成3年9月10日

日本雪氷学会北信越支部発行

## 目次

平成3年度支部顧問・評議員名簿／見学会報告／講演会案内／書籍紹介  
学習会／その他

### お知らせ

平成3年度日本雪氷学会北信越支部顧問・評議員名簿  
(平成3年9月10日現在)

支部規約第14条に基づき、支部顧問及び評議員の委嘱願いをお送りしたところ、現在下記の方々より御承諾の御回答を戴いております。本支部の発展のために宜しくご指導お願い致します。

#### 顧問

|       |       |       |            |
|-------|-------|-------|------------|
| 金子 清  | 新潟県知事 | 日浦晴三郎 | 長岡市長       |
| 中沖 豊  | 富山県知事 | 大塚久郎  | 新井市長       |
| 中西陽一  | 石川県知事 | 伊藤仙太郎 | 能生町長       |
| 栗田幸雄  | 福井県知事 | 大沼匡之  | 日本雪氷学会顧問   |
| 植木 公  | 上越市長  | 中川正之  | 金沢女子大学学長   |
| 飯塚 正  | 柏崎市長  | 下田 茂  | 新潟工業短期大学学長 |
| 小出 弘  | 小千谷市長 | 中俣三郎  | 新潟大学名誉教授   |
| 丸山尚政  | 十日町市長 | 津端一郎  | 長岡短期大学教授   |
| 杵淵 衛  | 栃尾市長  | 丸山久一  | 元日本国有鉄道    |
| 太田大三郎 | 加茂市長  | 栗山 弘  | 北陸建設弘済会    |
| 内山文雄  | 見附市長  |       | 長岡支所長      |

#### 評議員

|       |           |       |                        |
|-------|-----------|-------|------------------------|
| 東尾 正  | 新潟県企画調整部長 | 五十嵐純夫 | 長岡市企画調整部長              |
| 内貴 滋  | 富山県企画県民部長 | 高櫻 實  | 新井市建設課長                |
| 山内勇喜男 | 石川県土木部長   | 白石昭雄  | 能生町企画財政課長              |
| 西村清司  | 福井県県民生活部長 | 古川征夫  | (株)アルゴス代表取締役           |
| 西条達男  | 上越市建設部長   | 古田久寿男 | (株)加賀田組常務取締役           |
| 小林 進  | 柏崎市企画調整課長 | 神屋 博  | 佐藤工業(株)新潟営業所<br>土木次長   |
| 佐藤知己  | 小千谷市建設課長  | 豊田邦男  | 北陸電力(株)工務部長            |
| 馬場良朗  | 十日町市建設部長  | 藤原光壽  | 北陸道路エンジニア(株)<br>技術一部部長 |
| 佐藤陸雄  | 栃尾市企画財政課長 |       |                        |
| 渡辺喜一郎 | 加茂市企画財政課長 |       |                        |
| 稲田順一  | 見附市企画室長   |       |                        |

「黒部ダム・黒部川第四発電所」見学会が8月30日（金）に行われ、案内車等の関係で定員一杯の20名で関西電力（株）の御案内により、わが国では最も高く有名なアーチ式ダム（高さは、186m）、そして、冬期の積雪、雪崩を避け、さらに、国立公園の美観を損なわないよう、送電に必要な変電所、開閉所も含めた全設備が地下150mに造られているという世界でも大変珍しい大きな発電所を見学することができた。

前日の29日（木）は関西電力（株）の「宇奈月クラブハウス」に宿泊させていただき、お互いに酒やビールを交わしながら楽しい一夜を過ごすことができた。当日（30日）は朝8:00頃と同クラブハウスを出発し、近くにある黒部川電気記念館で広川次長さん（同社黒部川電力所）の御説明をききなごら約30分間位、いろいろと由緒ある模型や映画等を見て先人黒部峡谷鉄道で宇奈月駅を8:39に出発し車中の人となり、終点の黒部から関西電力（株）の専用軌道とエレベーター等に乗って10:50頃位に到着し、発電所長さんの説明をききながら、昼食も含めて1時間位にわたって非常に大きな立軸6ノズルベルトン水車などを見学することができた。そして、正午頃には発電所を後にしてインクラインとバスを乗り継いで12:40頃、黒部ダムに到着し、ダム周辺をゆっくり見学することができたが、もうシーズンはオフとはいえ、かなりの人々でダム周辺は賑わっていた。その名残り惜しい大きな黒部ダムを約1時間位見学して、関西電力（株）専用の車で最後のJR信濃大町駅（大糸線）に向かい、14:25頃に無事到着することができ、そこでめでたく解散となった。

お陰で見学中は天気にも恵まれたが、見学を終えた後、雨に少しばかり降られたけれども大変有意義な見学を無事終えることができた。なお、最後になりましたが、関西電力（株）の皆様には、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。次第です。

（対馬・高瀬理平 記）

## 講演会

## 講演会のお知らせ

この度、安成 哲三先生（筑波大学地球科学系助教授 専門：気候学・雪氷学）をお迎えして、長岡技術科学大学主催の特別講演会を下記の通り開催することとなりました。多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

記

日時 1991年10月11日(金) 14:40~16:10  
場所 長岡技術科学大学A講義室  
演題 気象学と地球環境問題の行方  
講師 安成 哲三氏(筑波大学地球科学系助教授)  
連絡先 〒940-21 長岡市上富岡町1603-1

長岡技術科学大学建設系 小池俊雄

電話: 0258-46-6000(6124), FAX: 0258-47-0019

書籍紹介

パタゴニア氷河紀行

近藤裕史・写真、 中島暢太郎・文 (A5版・203頁)

本書は本年1月、中国雲南省・梅里雪山峰で遭難した雪氷学会会員近藤裕史君(日本気象協会関西本部勤務)が、恩師である本学会副会長、中島暢太郎京大名誉教授とともに著し、本年3月に(株)リプロポートより出版されたものです。

著者は1968年の京都大学アンデス学術調査隊、1983・1985年の文部省海外学術調査、「パタゴニア地域の氷河における水文・気象学的研究」と3回にわたり現地を訪れています。その豊富な経験・知識、写真・資料から生まれた本書は、「写真を中心に随想風にチリー・パタゴニアの自然と人々を紹介してみたい」とある著者の意図通り、氷河、雲、動物、植物、人々の写真と文をまじえた読みやすいスタイルで、読者を豊かなパタゴニアの自然の中へ誘います。さらに氷河・気象・気候について実際の現象に即してのわかりやすい解説もあり、また社会の変化を記録する貴重な資料としての一面も持つ好著であります。

さきにも述べました通り、著者の一人、近藤裕史君は本年一月以来消息を絶ったままですが、あとに残された夫人と幼い二人のお子様の今後の生活にはご苦労が多いと聞いております。そこでなるべく多くの方に本書をご購入いただくことで近藤君のご家族への援助になればとの趣旨で、すでにご存知の方や購入された方も多いと思いますが、ここに紹介させていただきます。

本書は定価(税込み)2987円ですが、著者の一人の中島先生を通じると出版社のご好意により35%の著者割引となります。そこで一冊3000円でご購入いただきますと、一冊当り差額約1000円を近藤夫人にお届けできます。5冊以上まとめて注文すれば出版社より送料なしで郵送します。購入ご希望の方は下記宛ご連絡下されば支払い方法などをご案内します。皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

〒943-01

上越市稲田1-2-1

北陸農業試験場 気象資源研究室

横山宏太郎

電話: 0255-23-4131 内線284

FAX: 0255-24-8578

学習会

緊急

## 富山地区学習会のお知らせ

日 時 9月26日(土) 18時～20時  
場 所 富山大学理学部2号館中会議室(2階)  
話 題 屋根融雪システムについて  
富山県屋根融雪協会会長 泉 貞夫 氏他  
連絡先 富山市科学文化センター 石坂 TEL 0764-91-2123,  
富山大学 対馬 TEL 0764-41-1271

その他

### 『ニュースレター雪氷北信越』について

雪氷学会北信越支部では、支部会員への事業の案内や報告のために、今年度は毎奇数月10日前後に、ニュースレターを発行いたします。原稿を、下記の書式(できるだけワープロ原稿)で毎奇数月5日までに事務局にお送り下さい。

※書式 幅16.5cm, 1行: 33文字, 行数: 制限は設けないが手短に  
字間: 2.5mm, 行間: 5.4mm

ニュースレターに関するお問い合わせは  
長岡技術科学大学機械系 東 信彦 電話0258-46-6000 内線7120 まで